

〔釈文〕

不用大變 勸進要文集 大道散人

戲案

菅家の御哥

念魚画

海と山千さとをへだてて住人も

ものいゝかハす文字の掛橋

くらと家数々処をへだて

住人もミなゆりこわす

どしのかげだし

地震見舞之文

怪我身を以て類焼仕候大變之砌に御座候

処、鯰々御難洪に御ぐらつき被成候段、因ぐハ

の御儀に損たてまつり候、梁の下なつて此死

人一車内葬仕候、まことにむざんの至りに

御座候得共、いさゝか御目まいの印迄になくが

如くに御座候、騷動近辺

猶々難義随分御凌被成候様、うなされながら御

動揺様江ひよろつき御ゆい言可被成下候非常